

4 調査

I 世論調査

区では、区民の区政に対する意識や意向を的確に把握するために、昭和 49 年から 2 年に一度、世論調査を実施しています。今回の調査は、経年変化をみる「定住性」等の項目と、「区議会」「公共施設」「地域活動への参加」「環境」「ごみの各戸収集とリサイクル」等の項目について伺いました。

(1) 調査の概要

調査対象：品川区在住の満 20 歳以上の男女個人（平成 28 年 6 月 1 日現在）

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

対象者数：1,500 人

調査方法：調査員による個別面接聴取法

回収数：1,070 人

回収率：71.3%

調査期間：平成 28 年 6 月 24 日～7 月 10 日

(2) 調査の内容

平成 28 年度は、15 分野 40 問について調査しました。

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 区議会について
- 5 公共施設について
- 6 地域活動への参加について
- 7 環境について
- 8 ごみの各戸収集とリサイクルについて
- 9 防災について
- 10 オリンピック・パラリンピックについて
- 11 地域スポーツの推進について
- 12 健康について
- 13 認知症について
- 14 シティプロモーションについて
- 15 広報と情報化について

(3) 調査の結果

① 定住性について

これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」（49.1%）と「当分は住みたい」（39.9%）を合わせた『定住意向』は、89.0%で依然として高い水準を保っています。なお、品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便がよいから」が81.4%と最も多く、次いで「土地になじみや愛着があるから」（51.3%）などの順となっています。

② 生活環境について

お住まいの地域の生活環境についての評価をたずねたところ、「良い」と「やや良い」を合わせた『良い』は「交通の便」（91.6%）、「買い物の便」（78.6%）が特に高くなっています。一方「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』は、「住宅の密集具合」（37.3%）と「海・川・運河などの水の汚れ」（32.9%）がともに3割台で高くなっています。

③ 重点施策について

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「防災対策」が30.8%と最も高く、次いで「安全な市街地整備（老朽過密住宅地区の改良・空き家対策など）」（27.9%）、「高齢者福祉」（26.5%）、「生活安全（防犯対策・歩行喫煙禁止など）」（24.5%）、「子育て支援」（21.7%）などの順となっています。

④ 区議会について

区議会への関心をたずねたところ、「大いにある」（4.1%）と「ある」（18.1%）と少しある（30.2%）を合わせた『ある』は52.4%となっています。

⑤ 公共施設について

公共施設の総量をたずねたところ、「今あるすべての公共施設は必要なものであり、現状を維持すべきである」が39.5%、「足りていないと思うので、増やすべきである」は20.7%、「多すぎると思うので、減らすべきである」は7.4%となっています。

⑥ 地域活動への参加について

町会・自治会への加入状況をたずねたところ、「加入している」が53.8%となっています。一方、「加入していたことがある」（2.8%）と「加入したこと

がない」(28.9%)を合わせた『加入していない』は31.7%となっています。

⑦ 環境について

環境計画見直しにあたり重点的に取り組んでほしいことをたずねたところ、「水、みどりなどの自然環境の保全」が60.8%と最も高く、次いで「環境に配慮した街の整備」(50.4%)、「騒音、振動、悪臭などの対策」(49.4%)などの順となっています。

⑧ ごみの各戸収集とリサイクルについて

各戸収集についてたずねたところ、「ごみの分別やごみ出しのルールを守る意識につながる」が64.0%と最も高く、次いで「ごみ出しが楽である」(58.8%)、「カラスの被害を防げる」(27.7%)など順となっています。

⑨ 防災について

今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、＜自助・共助＞では「防災用品の備蓄(非常用携帯トイレ、水など)」が82.1%と最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」(65.4%)などの順となっています。＜公助＞では「さまざまな情報発信」が62.9%と最も高く、次いで「火災延焼防止のための木造密集地域対策」(48.9%)などの順となっています。

⑩ オリンピック・パラリンピックについて

東京オリンピック・パラリンピックに期待することをたずねたところ、「経済効果・景気回復」が51.9%と最も高く、次いで「子どもたちがオリンピック・パラリンピックを間近で経験する機会」(40.7%)、「まち(道路・施設など)の整備」(33.5%)などの順となっています。

⑪ 地域スポーツの推進について

運動やスポーツを行う頻度をたずねたところ、「週に3回以上」が10.0%、「週に1~2回」が19.1%、「月に1~3回」が12.0%となっています。一方、「運動・スポーツはしていない」が49.2%となっています。

⑫ 健康について

健康のために日頃から行っていることをたずねたところ、「定期的に健康診断を受けている」が52.0%と最も高く、次いで「近いところはバスやタクシーに乗らずに歩くようにしている」(50.8%)、「規則正しく食事を取るようにしている」(46.7%)などの順になっています。

⑬ 認知症について

認知症についての考えをたずねたところ、「自分や家族も認知症になる可能性があるので、詳しく知りたいと思う」が 51.9%と最も高く、次いで「身近な人に認知症の症状があり、認知症についてある程度理解している」(24.8%)、「言葉は知っているが、関心がない」(12.0%)などの順となっています。

⑭ シティプロモーションについて

品川区への愛着や親しみについてたずねたところ、「感じている」(40.6%)と「どちらかといえば感じている」(46.1%)を合わせた『感じている』は 86.7%となっています。一方、「感じていない」(3.0%)と「どちらかといえば感じていない」(2.6%)を合わせた『感じてない』は 5.6%となっています。

⑮ 広報と情報化について

区に関する情報の入手先にたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が 59.6%と特に高く、次いで「品川区のホームページ」(20.1%)、「町会回覧板での『〇月の品川区からのお知らせです』(ちらし)」(16.4%)などの順になっています。